

# 調査研究費(みらい下関)出張報告書

R 元年 7 月 7 日

氏名 戸澤 昭夫	視察項目 農業サミット
期間 R 元年 6 月 29 日 12:00から17:00 まで	視察先 東京都千代田区紀尾井町4-1 ホテルニューオオタニ ガーデンコート

## 視察概要・意見等

### ・スピーカー

仙台市の(株)舞台ファーム 代表取締役 針生信夫  
1000ヘクタール耕作し、グループで年商約40億、従業員200名の大規模農業法人

講演 農業の未来を大いに語る  
これからの農業に求められるものとは？  
農業商社 舞台ファームの取り組み

### ○ 舞台ファームの憲法

- ・ 私たちは世界とつながり、グローバルな農業発展のため、『次世代の食料供給システム』を構築していきます。
- ・ 健全な成長を続けることにより社会貢献し、利益の還元と循環を図ります。
- ・ 会社が良くなれば社員が良くなり、社員が良くなれば社会が良くなる仕組みを作ります。

### ○ 実践型コンサルティング事業

自治体と連携し「農業者支援活動」を全国で実施  
これまでにない仕組みを確立し、短期間で広域の農地を耕作する  
農機具は「買う時代からシェアする時代」へ・・・大きなコスト削減が可能  
農業起業家人材=グリーンカラー人材の育成が急務  
ブルーカラー×ホワイトカラー = グリーンカラー(マーケティング・営業ができる)

### その他の発表

微生物活性材バクチャーを用いた農業  
下関から有機農業の実態と今後の展望について

### まとめ

下関市はJAの規模では県下一ですが、専業農業で経営が成り立っている個人や組織が少なく感じている。これからの食料問題などを考えると、地元の農業振興や荒廃していく農地利用を真剣に考えなければならない。本市の現状の政策にはそのような問題解決への政策の本気度が見受けられないと思う。若い人が食料問題の解決や農業に興味を持つには、儲かる農業や働き甲斐があり、地域に認められた、または求められる下関の農業の確立(スマート農業等)が必要である。今後本市の未来農業を主力産業として生き抜くためには、グリーンカラーの育成が急務である。その為にも既存の地元農業法人や組合組織、個人にも行政として指導支援する政策を見直し、改善強化への取り組みを強く要望する。

## 進 行 予 定

11:00

資料、サンプル等配布のある方は、この時間に会場にお集まりください。

12:00 受付開始

13:00 スタート

ガイアソリューションの田中太郎がご挨拶をさせていただきます

13:05

(株)舞台ファームの針生信夫社長の農業の現状と今後の農業の在り方等語って頂き、皆さんと一緒に考えて頂きたいと思います。

14:30～15:00 質問時間

15 分間休憩

15:15～15:45

(株)セイアグリーシステム 代表取締役会長 伊勢豊彦氏  
早くからハサップを取り入れ、サルモネラ菌フリーの卵を生産。  
『鶏は何で卵を産むの?』が答えです。

5:00 間休憩

15:50～16:20

RBC(株)環境事業部 杉山孔太専務取締役による炭バクチャーの農業への大きな可能性を語って頂きます

5:00 休憩

16:25～16:55

(株)ロハス農園 中芳男代表取締役社長  
自然農法での野菜作りについて

5:00 休憩

17:00～18:00

針生社長を中心に参加者皆さんでのディスカッション予定

18:15～21:00 懇親会

4 階のガンシップさんのレストランに移動  
皆さんと飲み食べながら交流されてください  
少しでもビジネスのお役に立てればと思います

【名前】 ハリウ ノブオ  
**針生 信夫**

【役職】 株式会社舞台ファーム 代表取締役  
舞台アグリノベーション株式会社 代表取締役社長  
株式会社みちさき 取締役会長  
株式会社旬の風 代表取締役  
株式会社東日本コメ産業生産者連合会 代表取締役専務



【年齢】 57歳（昭和37年1月3日生）

【経歴】 昭和55年3月 宮城県立農業高等学校 卒業  
昭和57年3月 宮城県立農業講習所 卒業  
平成15年7月 株式会社舞台ファーム設立 代表取締役  
平成21年11月 農林水産省 マルシェ・ジャポン プロジェクト実行委員長  
平成22年5月 東北経済産業局 農商工伝道師  
平成25年2月 内閣府 食の6次産業化 プロデューサーキャリア段位制度 認定委員  
平成25年12月 国有財産東北地方審議会委員就任  
平成26年7月 仙台市認定農業者連絡協議会会長就任  
平成26年8月 宮城県認定農業者組織連絡協議会副会長就任  
平成27年1月 宮城県総合計画審議会審議委員就任  
平成27年4月 食の6次産業化プロデューサー 新段位最高レベルの「レベル5」取得  
平成30年6月 日本デリカフーズ協同組合顧問に就任  
平成31年4月 東京農業大学客員研究員に就任

■所在地	仙台市若林区日辺字田中11番地
■代表取締役	針生 信夫
■設立	有限会社 舞台ファーム 2003年7月11日 株式会社 舞台ファーム 2004年8月20日
■売上高・資本金	売上高:26.1億円<R1年6月見込>、(グループ全体:39.6億円) 資本金:5,000万円
■従業員	38名 (グループ全体:約200名)
■業務内容	野菜・お米の生産・販売 農産物加工・販売(カット野菜/ホール野菜) 農業経営に関するコンサルティング
■取得資格	全省庁統一入札参加資格(関東・甲信越地域、東北地域) 仙台市中央市場青果市場売買参加者資格(青果部 第2-111号) 米、卸売販売資格、農業生産法人資格、認定農業法人資格 仙台市飲食店営業許可(仙台市(若保衛)指令 第0289号) エコファーマー認定資格
■関連会社	(株)みちさき : 水耕栽培(トマト、葉物類) (株)旬の風 : 宅配寿司「銀のさら」店舗運営 e-フレッシュ(株) : カット野菜・業務用野菜 (一社)ステージパス : 障がい者就労継続支援 舞台アグリノベーション(株) : 精米事業・玄米流通